

**届出**

[平成22年度設置]

計画の区分：学部学科設置

注1

大正大学 文学部 人文学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 大正大学  
平成22年5月1日現在

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載いただき、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

# 目 次

1.	調査対象大学等の概要等	・ ・ ・ ・ ・	1
2.	授業科目の概要	・ ・ ・ ・ ・	4
3.	施設・設備の整備状況，経費	・ ・ ・ ・ ・	9
4.	既設大学等の状況	・ ・ ・ ・ ・	1 1
5.	教員組織の状況	・ ・ ・ ・ ・	1 3
6.	留意事項に対する履行状況等	・ ・ ・ ・ ・	1 4
7.	その他全般的事項等	・ ・ ・ ・ ・	1 5

## 1 調査対象大学等の概要等

### (1) 設置者

学 校 法 人      大 正 大 学

### (2) 大学名

大 正 大 学

### (3) 大学の位置

〒170-8470

東京都豊島区西巣鴨三丁目20番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

### (4) 管理運営組織

職 名	届 出 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(スギタニ ギジュン) 杉 谷 義 純 (平成21年3月)		
学 長	(コミネ ミチヒコ) 小 峰 彌 彦 (平成19年4月)	(タダ コウブン) 多 田 孝 文 (平成22年4月)	任期満了のため 平成22年3月31日 (22)
学 部 長	(ホシカワ ケイジ) 星 川 啓 慈 (平成19年4月)	(オコノギ テルユキ) 小 此 木 輝 之 (平成22年4月)	任期満了のため 平成22年3月31日 (22)
学科長等		(シミズ ユウショウ) 清 水 宥 聖 (平成22年4月)	学部等新設のため(22)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 → (19)

平成22年度に報告する内容 → (22)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

## (5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は、平成19年度開設の4年制の学科の場合(平成22年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

## (5) -① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設 置 時 の 計 画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
文学部 人文学科  学士(人文学)	年  4	人  100	年次 人  3	人  406	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

## (5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	( - ) 100	( )	( )	( )	1.15倍	
志願者数	( ) 699	( )	( )	( )		
受験者数	( ) 681	( )	( )	( )		
合格者数	( ) 255	( )	( )	( )		
B 入学者数	( ) 115	( )	( )	( )		
入学定員超過率 B/A	( ) 1.15	( )	( )	( )		

- (注) ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入し、平均入学定員超過率も同様の方法としてください。  
 ・ 「平成22年度」には、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・ 「平成19～21年度」には、確定した数値を記入してください。

## (5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	備 考
1年次	[ - ] 115	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次		[ ]	[ ]	[ ]	
3年次			[ ]	[ ]	
4年次				[ ]	
計	[ - ] 115	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

## (5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度	計 [ - ]	(累積) 計 [ 1 ]	[     %] — %
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 115	
	(主な退学理由)		
平成23年度	計 [     ]	(累積) 計 [     ]	[     %] %
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	(主な退学理由)		
平成24年度	計 [     ]	(累積) 計 [     ]	[     %] %
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度入学者 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度入学者 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度入学者 人	
	(主な退学理由)		
平成25年度	計 [     ]	(累積) 計 [     ]	[     %] %
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度入学者 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度入学者 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度入学者 人	
	うち平成25年度入学者 人	うち平成25年度入学者 人	
(主な退学理由)			

(注)・ [     ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
  - ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他
- ・「平成22年度」については5月1日現在の状況を記入してください。
- ・「平成19～21年度」には、確定した数値を記入してください。

## 2 授業科目の概要

<文学部 人文学科>

### (1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
第 I 類 科 目	大学入門 1-I	1前	1								兼 1	
	大学入門 1-II	1前		1							兼 1	
	大学入門 2	1前	2								兼 7	
	大学入門 3	1前	2			2					兼 21	
	大学入門 4	1前	2			1					兼 17	
	小計 (5科目)	—	7	1	0	3	0	0	0	0	兼 34	
	人間探究 A-I	1・2前・後		2		2						
	人間探究 A-II	1・2前・後		2		2					兼 1	
	人間探究 B-I	1・2前・後		2							兼 3	
	人間探究 B-II	1・2前・後		2							兼 3	
	人間探究 C-I	1・2前・後		2							兼 1	
	人間探究 C-II	1・2前・後		2							兼 3	
	人間探究 D-I	1・2前・後		2							兼 1	
	人間探究 D-II	1・2前・後		2		1					兼 2	
	人間探究 E-I	1・2前・後		2		3					兼 1	
	人間探究 E-II	1・2前・後		2		1					兼 4	
	人間探究 F-I	1・2前・後		2							兼 1	
	人間探究 F-II	1・2前・後		2							兼 3	
	人間探究 G-I	1・2前・後		2							兼 3	
	人間探究 G-II	1・2前・後		2							兼 5	
	人間探究 H-I	1・2前・後		2		2					兼 2	
	人間探究 H-II	1・2前・後		2		1					兼 3	
	人間探究 I	1・2後		2							兼 1	
	小計 (17科目)	—	0	34	0	12	0	0	0	0	兼 30	
	英語 I	1・2前・後		1		1					兼 10	
	英語 II	1・2前・後		1		1					兼 10	
	英語 III	1・2前・後		1		2					兼 10	
	英語 IV	1・2前・後		1		2					兼 10	
	英語 V	2・3前		1							兼 1	
	英語 VI	2・3後		1							兼 1	
	中国語 I	1・2前・後		1							兼 6	
	中国語 II	1・2前・後		1							兼 6	
	中国語 III	1・2前・後		1							兼 5	
	中国語 IV	1・2前・後		1							兼 5	
	中国語 V	1・2前		1							兼 2	
	中国語 VI	1・2後		1							兼 2	
	ドイツ語 I	1・2前・後		1		1					兼 2	
	ドイツ語 II	1・2前・後		1		1					兼 2	
	ドイツ語 III	1・2前・後		1		1					兼 2	
	ドイツ語 IV	1・2前・後		1		1					兼 2	
	フランス語 I	1・2前・後		1		1					兼 1	
	フランス語 II	1・2前・後		1		1					兼 1	
	フランス語 III	1・2前・後		1		1					兼 1	
	フランス語 IV	1・2前・後		1		1					兼 1	
	韓国語 I	1・2前		1							兼 1	
	韓国語 II	1・2後		1							兼 1	
	韓国語 III	1・2前		1							兼 1	
	韓国語 IV	1・2後		1							兼 1	
	スペイン語 I	1・2前		1							兼 1	
	スペイン語 II	1・2後		1							兼 1	
	スペイン語 III	1・2前		1							兼 1	
	スペイン語 IV	1・2後		1							兼 1	

第Ⅰ類科目	諸外国語	ヒンディ語Ⅰ	1・2前		1						兼1	
		ヒンディ語Ⅱ	1・2後		1						兼1	
		ヒンディ語Ⅲ	1・2前		1						兼1	
		ヒンディ語Ⅳ	1・2後		1						兼1	
		小計（32科目）	—	0	32	0	14	0	0	0	兼28	
第Ⅱ類科目	基礎部門	基礎ゼミナールⅠ	1前	2			4					
		基礎ゼミナールⅡ	1後	2			4					
		日本文化総論	1・2前		2		1					
		日本文学基礎論	1・2後		2		1					
		日本語基礎論	1・2前		2		1					
		哲学・思想基礎論	1・2後		2		1					
		宗教文化論	1・2前		2		1					
		カルチュラルスタディーズ総論	1・2後		2		1					
		文化人類学	1・2前		2						兼1	
		表現文化論	1・2前		2						兼1	
		小計（10科目）	—	4	16	0	14	0	0	0	兼2	
	応用部門	基礎日本文学Ⅰ	1・2前		2						兼1	
		基礎日本文学Ⅱ	1・2後		2						兼1	
		基礎日本文学Ⅲ	1・2前		2		1					
		基礎日本文学Ⅳ	1・2後		2		1					
		基礎日本語Ⅰ	1・2前		2		1					
		基礎日本語Ⅱ	1・2後		2		1					
		基礎日本語Ⅲ	1・2前		2		1					
		基礎日本語Ⅳ	1・2後		2		1					
		古典文学研究Ⅰ	2・3前		2		1					
		古典文学研究Ⅱ	2・3後		2		1					
		古典文学研究Ⅲ	2・3前		2		1					
		古典文学研究Ⅳ	2・3後		2		1					
		古典文学研究Ⅴ	2・3前		2						兼1	
		古典文学研究Ⅵ	2・3後		2						兼1	
		詩歌研究Ⅰ	2・3前		2		1					
		詩歌研究Ⅱ	2・3後		2		1					
		近代文学研究Ⅰ	2・3前		2		1					
		近代文学研究Ⅱ	2・3後		2		1					
		近代文学研究Ⅲ	2・3前		2						兼1	
		近代文学研究Ⅳ	2・3後		2						兼1	
		近代文学研究Ⅴ	2・3前		2						兼1	
		近代文学研究Ⅵ	2・3後		2						兼1	
		日本語学研究Ⅰ	2・3前		2						兼1	
		日本語学研究Ⅱ	2・3後		2						兼1	
		日本語学研究Ⅲ	2・3前		2		1					
		日本語学研究Ⅳ	2・3後		2		1					
		音声学研究Ⅰ	2・3前		2						兼1	
		音声学研究Ⅱ	2・3後		2						兼1	
		言語学研究Ⅰ	2・3前		2						兼1	
		言語学研究Ⅱ	2・3後		2						兼1	
		仏教文学Ⅰ	2・3前		2		1					
		仏教文学Ⅱ	2・3後		2		1					
		日本漢文学	2・3		2		1					集中
		日本文学課題研究Ⅰ	3・4前		2		2					
		日本文学課題研究Ⅱ	3・4後		2		2					
		日本文学課題研究Ⅲ	3・4前		2		2					
		日本文学課題研究Ⅳ	3・4後		2		2					





- ・「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成１９年度届出以前）についても、届出時の状況を黒字で記載いただき、平成２２年５月１日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。

## （２）授業科目数

届 出 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目 11	科目 263	科目 0	科目 274	科目 11 [   ]	科目 263 [   ]	科目 0 [   ]	科目 274 [   ]	

（注）・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[   ] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当科目なし					
2						
3						

- (注) ・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当科目なし					
2						
3						

- (注) ・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	【賃与者】			
	校 舎 敷 地	39,240㎡	0㎡	0㎡	39,240㎡	(学) 佛教教育 学園			
	運動場用地	31,429㎡	0㎡	0㎡	31,429㎡				
	小 計	70,669㎡	0㎡	0㎡	70,669㎡	【賃与期間】			
	そ の 他	712㎡ 287㎡	0㎡	0㎡	287㎡	H5. 1. 26から20年間 駐輪場新設のため(22)			
	合 計	71,381㎡ 70,956㎡	0㎡	0㎡	71,381㎡ 70,956㎡				
(2)校舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	新教育・研究棟完成の ため、校舎専用増(22)				
	49,849㎡ 43,117㎡	0㎡	0㎡	49,849㎡ 43,117㎡					
	( 49,849㎡ )			( 49,849㎡ )					
	<del>( 43,117㎡ )</del>			<del>( 43,117㎡ )</del>					
(3)教室等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	59室	24室	10室	4室 (補助職員 1人)	0室 (補助職員 0人)				
(4)専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	文学部 人文学科			11 室					
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	電子ジャーナル、視聴覚資 料は、大学全体で共用	
		文学部 人文学科	108,059 [15,688] (101,804 [15,121])	5,312 [340] (2,609 [217])	20 [ 2 ] ( 20 [ 2 ] )	10,527 ( 9,657 )	0 ( )		0 ( )
			計	108,059 [15,688] (101,804 [15,121])	5,312 [340] (2,609 [217])	20 [ 2 ] ( 20 [ 2 ] )	10,527 ( 9,657 )		0 ( )
(6)図書館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	4,862㎡		383		502,778				
(7)体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	1,312㎡		総合グラウンド、野球場、テニスコート						
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	400千円	400千円	図書購入費	94,500千円	94,500千円	94,500千円	
		共 同 研 究 費 等	11,469千円	11,000千円	設備購入費	150,000千円	7,579千円	7,579千円	
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用費)を含む。 納付金(授業料)を増額(22)	
		1,080千円 1,070千円	900千円 840千円	900千円 840千円	900千円 840千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、寄付金(設立宗派・同窓会・寺院関係者)、手数料(入学検定料等)、資産運用収入、等						

- (注) ・届出時の計画を設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・「(3) 教室等」「(5) 図書・設備」等について、届出時に数値を記載する必要がなかった学部等(平成20年度届出以前)については、届出時の数値の記載は不要ですが、平成22年5月1日現在の数値を赤字で記入してください。  
届出時に数値を記載した学部等(平成21年度届出以降)については、届出時の数値を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。
  - ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・「(5) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定の数値を、下段には平成22年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。

#### 4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	大 正 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 学 員	収 容 定 員	学位又は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
仏教学部	年	人	年次 人	人		倍			
仏教学科	4	100	25	450	学士（仏教学）	1.16	平成22年度	東京都豊島区西 巣鴨3丁目20 番地1号	H22.4開設(22)
人間学部									
仏教学科	4	— 120	— 20	— 520	学士（仏教学）	— 1.11	平成5年度		H22.4募集停止 (22)
アーバン福祉学科	4	140	20	560	学士（社会福祉学）	1.09	平成5年度		
臨床心理学科	4	85	13	366	学士（臨床心理学）	1.28	平成21年度		
人間科学科	4	170 190	6 16	692 792	学士（人間科学）	1.25			
人間科学専攻		(105)	(6)	(432)		(1.25)	平成20年度		H22.4収容定員 変更(22)
教育人間学専攻		(85)	(10)	(360)		(1.25)	平成20年度		
文学部									
表現文化学科	4	— 150	— 20	— 640	学士（表現文化）	—	平成15年度		
人文学科	4	100	—	400	人文学	1.15	平成22年度	同上	H22.4開設(22)
歴史学科	4	135	3	546	歴史文化	1.26	平成15年度	同上	H22.4歴史文化 学科より名称変 更、収容定員変 更(22)
歴史文化学科		140	26	612					
表現学部									
表現文化学科	4	130	6	520	表現文化	1.22	平成22年度	同上	H22.4開設(22)

仏教学研究科								東京都豊島区西 巣鴨3丁目20 番地1号	
仏教学専攻									
修士課程	2	40		80	修士（仏教学）	0.89	平成13年度		
博士後期課程	3	7		21	博士（仏教学）	1.39	平成13年度		
人間学研究科									
社会福祉学専攻									
修士課程	2	15		30	修士（人間学）	0.49	平成13年度		
臨床心理学専攻									
修士課程	2	18		36	修士（人間学）	0.97	平成13年度		
人間科学専攻									
修士課程	2	15		30	修士（人間学）	0.12	平成13年度		
福祉・臨床心理学専攻									
博士後期課程	3	6		18	博士（人間学）	0.50	平成13年度		
文学研究科									
宗教学専攻									
修士課程	2	10		20	修士（文学）	0.48	昭和27年度		
博士後期課程	3	3		9	博士（文学）	0.42	昭和32年度		
史学専攻									
修士課程	2	10		20	修士（文学）	0.93	昭和54年度		
博士後期課程	3	3		9	博士（文学）	0.58	昭和54年度		
国文学専攻									
修士課程	2	10		20	修士（文学）	0.30	昭和26年度		
博士後期課程	3	3		9	博士（文学）	0.08	昭和32年度		
比較文化専攻									
修士課程	2	20		40	修士（文学）	0.06	平成9年度		
博士後期課程	3	3		9	博士（文学）	0.17	平成11年度		

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・設置届出書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「－」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<文部 人文>

(1) 担当教員表

( 省 略 )

(2) 専任教員数

届 出 時 の 計 画						変 更 状 況						備 考
教 授	准教授	講 師	助 教	計	助 手	教 授	准教授	講 師	助 教	計	助 手	
13	0	1	0	14	1	13	0	1	0	14	1	
( )	( )	( )	( )	( )	( )	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

(注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ] 内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1			
2			
3			

(注) ・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月)	該当なし		

- (注) ・「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。



## 7 その他全般的事項

### <文学部 人文学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

届 出 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
変更なし	

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

##### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

※関係規程等を転載又は添付すること

○平成5年度から「教育評価部会」を設置

○平成5年度から「教育評価部会」の下に「授業評価実施小委員会」を設置

○平成20年度から「学士課程教育構築に関する部会」を設置

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

（平成21年度）

平成21年4月～平成22年3月

○「教育評価部会」（構成員：各学科・専攻の教員から1名ずつ互選。計7名）

6月に1回開催。委員は概ね出席。

○「授業評価実施小委員会」（構成員：各学科・専攻の教員から1名ずつ互選。計7名）

春学期2回、秋学期2回、計4回開催。委員は概ね毎回出席。

○「学士課程教育構築に関する部会」

（構成員：各コースから1名ずつ互選【主として教務主任】と部会長指名者。計20名）

計7回開催。委員は概ね毎回出席。

##### c 委員会の審議事項等

（平成21年度）

○「教育評価部会」

・教員による授業自己点検報告書「授業経過報告書」項目の見直し・活用方法

・外部講師による講演会の実施

○「授業評価実施小委員会」

・学生による「授業評価アンケート」項目の見直し・報告書作成

○「学士課程教育構築に関する部会」

・CP・AP策定

・講義概要やシラバスの検討

・平成22年度採用予定新任教員対象FD研修会

## ② 実施状況

### a 実施内容

(平成21年度)

- ・教員による授業自己点検報告書「授業経過報告書」
- ・学生による「授業評価アンケート」
- ・外部講師による講演会
- ・CP・AP策定
- ・講義概要やシラバスの検討
- ・平成22年度採用予定新任教員を対象にFD研修会を開催

### b 実施方法

(平成21年度)

- ・教員による授業自己点検報告書「授業経過報告書」  
春学期及び秋学期の授業終了後に作成し提出。「授業アンケート」結果と照らし合わせ、自己点検を行う。
- ・学生による「授業評価アンケート」  
春学期及び秋学期の授業期間中に、専任及び非常勤教員担当の全授業科目で実施。
- ・外部講師による講演会  
21年度は、他大学から講師を招き、学士教育課程の効果測定、特にラーニング・アウトカムの評価の意義やその手法について講演会を実施。
- ・CP・AP策定  
平成22年年3月にCP・APを策定。
- ・講義概要やシラバスの検討  
平成21年より、授業の到達目標に関する項目を追加

### c 開催状況（教員の参加状況含む）

(平成21年度)

- ・教員による授業自己点検報告書「授業経過報告書」  
春学期：7月 秋学期：2月
- ・学生による「授業評価アンケート」  
春学期：6月～7月 秋学期：12月～1月
- ・外部講師による講演会  
平成21年6月24日（水）に初年次教育学会学会長・同志社大学社会学部教授山田礼子氏を講師として招聘し、「学士課程教育の効果をどう測るか」について講演会を開催。

### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成21年度のFD活動の実施結果を踏まえて、平成22年度以降も取組みを継続的に実施する。

具体的には、

- ・学生による「授業評価アンケート」  
「授業の到達目標」に対する回答項目を検討
- ・外部講師による講演会を予定

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表(予定)時期

・平成21年5月1日 公表

本学は学則において教育研究活動の状況について自ら点検及び評価を行うことを定めている。

組織的には理事長を長とする「自己評価委員会」をおき、そのもとに学長を長とする「自己評価運営委員会」、そのもとに「教育評価部会」、「研究評価部会」、「社会活動評価部会」、「管理運営評価部会」、「大学院評価部会」の5つの「個別評価部会」をおいている。さらには教育評価部会の下に「授業評価実施小委員会」をおいている。

「自己評価委員会」は、全学的観点から総合かつ体系的な自己点検・自己評価を行い、総括評価報告書を作成するため、実施体制、実施方法、評価結果の活用等について協議する。

「自己点検・評価実施運営委員会」においては、自己点検・評価の視点、項目、細目、スケジュールを決定し、自己評価委員会に報告している。

「個別評価部会」は、運営委員会が策定した実施要綱に基づき、当該部会が担当する分野、領域の資料収集、調査を行い、各項目の点検・評価を実施し、部会評価報告書を作成し、運営委員会に報告する。

なお、教育活動評価の重要な指標となる学生による授業評価アンケートについては全科目について毎学期行っている。

「授業評価実施小委員会」は、教育活動評価の重要な指標となる学生による授業アンケートの準備・実施・分析の援助を行い、結果を教育評価部会に報告している。

「自己点検・評価実施運営委員会」は学長を長とし、学部長、学科長、事務局長、総務部長、教務部長、学生部長、企画広報部長で構成し、事務は企画調整室が所轄する。また学生による授業評価アンケートは教務部の所轄事務として行う。

平成22年度には、全体として点検を行い、理念・目的、教育・研究等について自己点検・評価を行う。平成23年度に『自己点検・評価報告書』としてまとめていく予定である。

##### b 公表方法

自己点検・評価の取組みが本学の教育研究活動の総括と方針決定に結びつく重要な業務であることを認識し、報告書にまとめることに留まらず、改善すべき内容については緊急度の高いものから随時具体化をはかる。自己点検・評価の結果については『自己点検・評価報告書』を刊行すると同時に本学のホームページにも掲出している。

また、授業評価アンケートについては、年2回『学生による授業評価報告書』として刊行すると同時に本学のホームページに公開している。

#### ③ 認証評価を受ける計画

これまでに、平成6年に「大学基準協会」維持会員への申請を行い、平成7年度より維持会員となり、平成13年度に大学基準協会の相互評価を受けてきた。そして平成18年度には「自己点検・評価実施委員会」が作成した自己点検・評価報告書をもとにして、文部科学省の認証を受けた評価機関内の「大学基準協会」を利用して第三者評価を行い、「大学基準に適合する」旨の結果を得た。

(注)・届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (4) 情報提供に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 ( ☒ 有 ・ ☐ 無 )
- b 公表予定時期 ( 22年 6月 1日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
( ☒ 承諾する ・ ☐ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
( [http://www.tais.ac.jp/guide/edu\\_vision/report/](http://www.tais.ac.jp/guide/edu_vision/report/) )

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。